

# 1. BHPB: BHP Billiton Ltd./ BHP Billiton plc.

(ビー・エイチ・ピー・ビルトン)

## 1) 企業概要

本社*	BHP Billiton Ltd. : 豪 Melbourne BHP Billiton plc. : 英 London
主要事業〔鉱種〕	非鉄金属、ダイヤモンド、石油・石油製品、石炭、工業原料、鉄鉱石 〔Cu, Zn, Pb, Au, Ag, Al, Ni, Mn, Mo, 鉄鉱石, ダイヤモンド, 石油, 石炭, 天然ガス〕
従業員数	39,570人(※2010/09年度内平均、役員含む、合弁・関連会社を除く)
決算日	6月末日
主要関連会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Minera Escondida Ltd.: 57.5%(ミネラ・エスコンディダ社, チリ, 銅鉱業)</li> <li>• Minera Antamina SA : 33.75%(ミネラ・アンタミナ社, ペルー, 銅・亜鉛鉱業)</li> <li>• Samarco Mineracao SA: 50%(サマルコ・ミネラソン社, ブラジル, 鉄鉱業)</li> <li>• Mozal SARL : 47.1%(モザール社, モザンビーク, アルミ製錬業)</li> <li>• Alumar : (アルマル社, ブラジル, アルミ製錬(40%), アルミ精製(36%))</li> <li>• Worsley : 86%(ワースレイ社, 豪, ホークサイト, アルミ製錬)</li> <li>• QNI Resources Pty Ltd. : 100%(豪, ニッケル鉱業)</li> <li>• Richards Bay Minerals : 50%(リチャード・ベイ・ミネラルズ社, 南ア, ミネラルプロダクト鉱業)</li> </ul>

※BHPとBillitonは2001年6月29日に正式に合併し、“二本社体制(Dual listed company structure)”となったが、本部(Headquarter)はMelbourneに置かれている。本稿ではBHP Billiton Groupの数値を基本とする。

## 2) 財務状況 (mUS\$)

年度	2010/09 ※ <sup>1</sup>	2009/08	2008/07
売上高(総額) Revenue : Group production + Third party products 〔①〕	52,798	50,211	59,473
売上高(自社権益分) Revenue : Group production 〔①'〕	48,193	44,113	51,918
売上高(自社権益分) の割合 〔①'/①〕	91.3%	87.9%	87.3%
当期純利益 Profit after taxation - Attributable to members of BHP Billiton Group) 〔②〕	12,722	5,877	15,390
売上高利益率 〔③=②/①〕	24.1%	11.7%	25.9%
売上高利益率(自社権益分) 〔③'=②'/①'〕	26.4%	13.3%	29.6%
資産 Total assets 〔④〕	88,852	78,770	76,008
流動資産 Total current assets	25,134	22,486	21,680
負債 Total liabilities 〔⑤〕	39,523	38,059	36,965
流動負債 Total current liabilities	13,042	11,850	16,478
純資産 Net assets 〔⑥=④-⑤〕	49,329	40,711	39,043
探鉱費 Mineral exploration expenditure ※ <sup>2</sup>	516	695	547

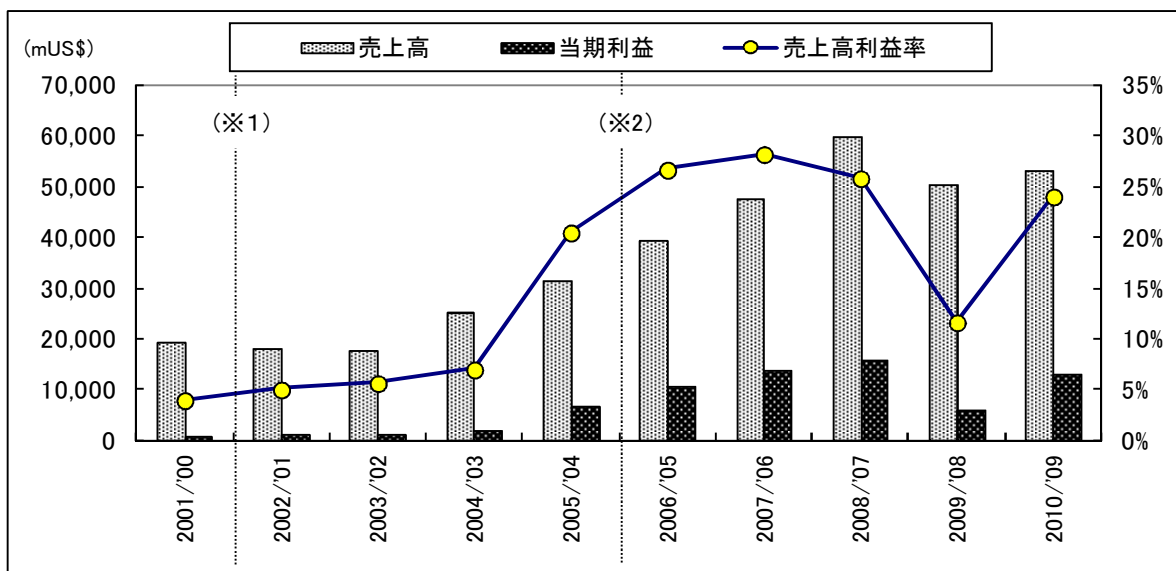
※<sup>1</sup> 同社は6月末締めのも豪会計年度を使用している。

※<sup>2</sup> 探鉱費は"Minerals exploration"分の数値。アニュアルレポート、“BHP BILLITON EXPLORATION AND DEVELOPMENT REPORT FOR THE QUARTER”による。

<参考> : 暦年ベース換算値 (mUS\$)

暦年	2010	2009	2008
売上高(総額)Revenue : Group production + Third party products [(1)]	62,388	45,007	63,714
当期純利益 Profit after taxation - Attributable to members of BHP Billiton Group)②	17,111	9,395	11,990
売上高利益率 [(3)=②/①]	27.4%	20.9%	18.8%
探鉱費 Mineral exploration expenditure ※	556	577	712

※探鉱費は"Minerals exploration"分の数値。"BHP BILLITON EXPLORATION AND DEVELOPMENT REPORT FOR THE QUARTER"による。



以下、図1. 1～図1. 3に係る注意書き

(※1) 2001年6月、Billitonと対等合併し、BHP Billiton成立。

(※2) 2005年6月、WMC Resourcesを買収し、豪州の銅、金、ウラン、ニッケル、アルミ鉱業資産を獲得。

図1. 1 BHPB: 財務状況の推移

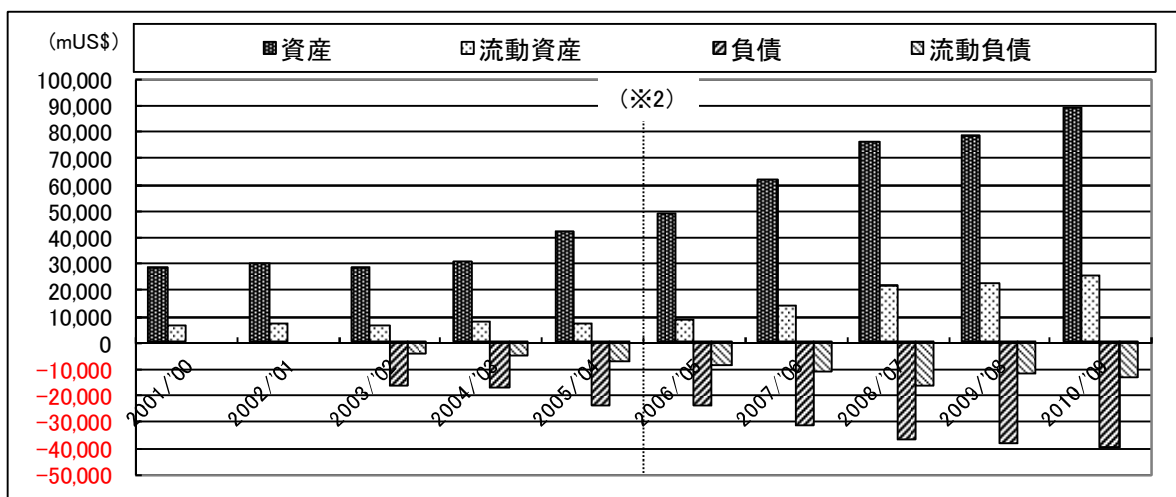


図1. 2 BHPB: 資産と負債の推移

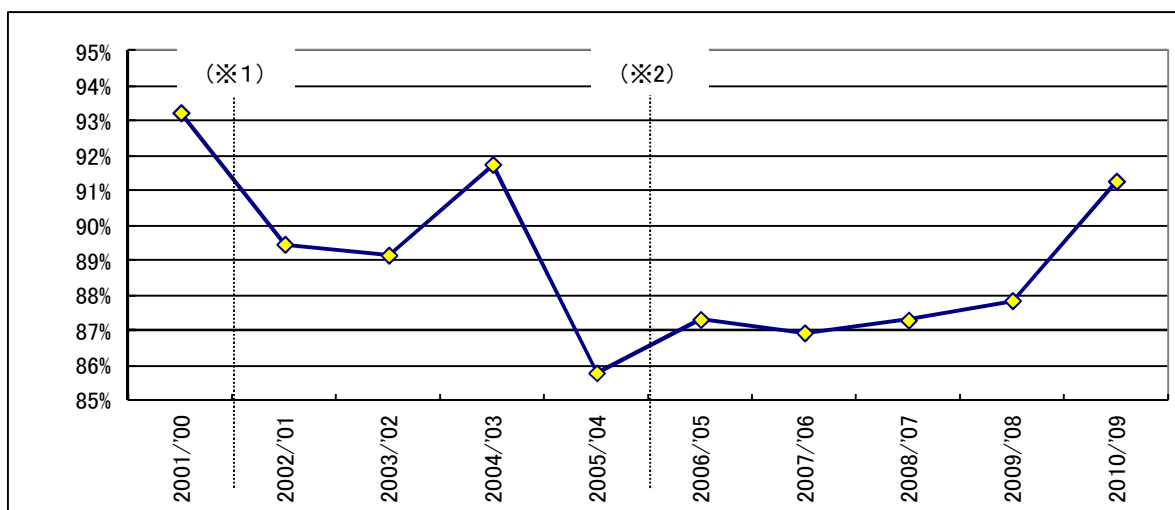


図1.3 BHPB: 売上高の自社権益分比率の推移

3) 主要鉱産物の生産状況〔※鉱山名(所在国、権益比率):生産量は権益分〕

会計年度(豪会計年度:6月締)	2010/09	2009/08	2008/07	'10年の世界シェア等
	2009.7~2010.6	2008.7~2009.6	2007.7~2008.6	
<b>銅鉱(精鉱中含有量+カソード: kt)</b>	<b>1,075.2</b>	<b>1,207.1</b>	<b>1,375.5</b>	第4位(6.7%)、企3位
Escondida(チリ II、57.5%)	622.3	589.7	811.1	
Olympic Dam(豪 SA、100%)	103.3	194.1	169.9	旧 WMC 資産(05年6月~)
Antamina(ペルー Ancash、33.6%)	98.6	109.0	111.7	'01年10月生産開始
Cerro Colorado(チリ I、100%)	85.2	102.1	106.4	
Spence SxEw(チリ II、100%)	159.6	172.7	142.7	
Pinto Valley(米 AZ、100%)	6.2	39.5	33.7	メンテナンスのため'09年1月生産中断(SxEwは継続)
<b>銅精鉱(精鉱中含有量: kt)</b>	<b>546.7</b>	<b>559.9</b>	<b>818.0</b>	
Escondida(チリ II、57.5%)	448.1	417.6	679.5	
Antamina(ペルー Ancash、33.75%)	98.6	109.0	111.7	
Pinto Valley(米 AZ、100%)	0.0	33.3	26.8	
<b>銅地金(SxEw カソード: kt)</b>	<b>528.5</b>	<b>647.2</b>	<b>557.5</b>	
Escondida SxEw(チリ II、57.5%)	174.2	172.1	131.6	
Cerro Colorado SxEw(チリ I、100%)	85.2	102.1	106.4	
Spence SxEw(チリ、100%)	159.6	172.7	142.7	
Olympic Dam SxEw(豪 SA、100%)	103.3	194.1	169.9	
Pinto Valley SxEw(米 AZ、100%)	6.2	6.2	6.9	
<b>亜鉛鉱(精鉱中含有量: kt)</b>	<b>198.3</b>	<b>163.2</b>	<b>144.5</b>	第11位(1.6%)、企10位
Cannington(豪 QLD、100%)	62.7	54.8	61.0	
Antamina(ペルー Ancash、33.75%)	135.6	108.4	83.5	'01年10月生産開始
<b>鉛鉱(精鉱中含有量: kt)</b>	<b>248.4</b>	<b>230.1</b>	<b>253.1</b>	第2位(6.1%)、企1位
Cannington(豪 QLD、100%)	245.4	226.8	251.5	
Antamina(ペルー Ancash、33.75%)	3.0	3.3	1.6	

<b>金鉱(t)</b>	<b>4.4</b>	<b>5.5</b>	<b>5.0</b>	
Escondida(チリ II、57.5%)	2.4	2.1	2.5	
Olympic Dam(豪 SA、100%) ※地金精製量	2.0	3.4	2.5	旧 WMC 資産(05 年 6 月～)
Pinto Valley(米 AZ、100%)	—	0.0	0.0	メンテナンスのため09 年 1 月生産中断
<b>銀鉱(t)</b>	<b>1,175.0</b>	<b>1,072.6</b>	<b>1,131.5</b>	第 3 位(5.2%)、企 2 位
Escondida(チリ II、57.5%)	89.4	86.0	112.1	
Antamina(ペルー Ancash、33.75%)	146.6	127.2	109.0	'01 年 10 月生産開始
Cannington(豪 QLD、100%)	1,159.4	1,037.8	1,103.7	
Olympic Dam(豪 SA、100%) ※地金精製量	15.6	29.1	24.3	旧 WMC 資産(05 年 6 月～)
Pinto Valley(米 AZ、100%)	—	5.7	3.5	メンテナンスのため09 年 1 月生産中断
<b>ニッケル地金(kt)</b>	<b>176.2</b>	<b>173.1</b>	<b>167.9</b>	
Cerro Matoso SA(コロンビア CRD、99.8%)	49.6	50.5	41.8	
Yabulu(豪 WA、100%)※地金精製量	2.8	33.9	28.0	
Nickel West(Leinster,Mt.Keith : 豪 WA、100%)	123.8	88.7	98.1	
<b>コバルト(kt) Yabulu(豪 WA、100%)※地金精製量</b>	<b>0.1</b>	<b>1.4</b>	<b>1.7</b>	'09 年 7 月売却
<b>マンガン鉱(kt) Samancor 社(60%権益分)</b>	<b>3,674</b>	<b>2,685</b>	<b>3,945</b>	第 2 位(9.4%)、企 1 位
Hotazel(南ア、60%)	1,631	1,315	1,824	
GEMCO(豪、60%)	2,044	1,370	2,121	
<b>マンガン合金(kt) Samancor 社(60%権益分)</b>	<b>349.8</b>	<b>307.8</b>	<b>465.0</b>	
Hotazel(南ア、60%)	218.4	180.6	307.8	
GEMCO(豪、60%)	131.4	127.2	157.2	
<b>モリブデン鉱(t)</b>	<b>813</b>	<b>1,522</b>	<b>2,542</b>	第 17 位(0.3%)
Antamina(ペルー Ancash、33.75%)	813	1,363	2,542	
Pinto Valley(米 AZ、100%)	—	159	—	メンテナンスのため09 年 1 月生産中断
<b>ウラン精鉱 U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>(t) Olympic Dam(豪 SA、100%)</b>	<b>2,279</b>	<b>4,007</b>	<b>4,144</b>	第 8 位(3.6%)
<b>チタン鉱(kt) Richard Bay Minerals(南ア、51%、49.45%)</b>	<b>317</b>	<b>490</b>	<b>480</b>	Rio Tinto(49%、50.55%)
<b>ルチル(kt) Richard Bay Minerals(南ア、51%、49.45%)</b>	<b>34</b>	<b>44</b>	<b>43</b>	Rio Tinto(49%、50.55%)
<b>ジルコン(kt) Richard Bay Minerals(南ア、51%、49.45%)</b>	<b>83</b>	<b>120</b>	<b>120</b>	Rio Tinto(49%、50.55%)
<b>鉄鉱石(kt)</b>	<b>124,962</b>	<b>114,415</b>	<b>112,260</b>	第 4 位(6.9%)、企 3 位
Mt Newman(豪 WA、85%)	32,097	31,350	30,330	三井物産 + 伊藤忠 10、伊藤忠 (IMEA)5%
Jimblebar(豪 WA、85%)	—	—	5,119	2010 年から Mt.Newman と合算で公表
Goldsworthy(豪 WA、85%)	1,688	1,416	941	伊藤忠 8、三井物産 7%(リース)
Goldsworthy, Area C JV(豪 WA、85%)	38,687	35,513	27,130	伊藤忠 8、三井物産 7%
Yandi(豪、85%)	41,396	37,818	40,276	伊藤忠 8、三井物産 7%
Samarco(ブラジル MG、50%)	11,094	8,318	8,464	Vale50%
<b>ボーキサイト(mt) ※参考：RMG データより</b>	<b>10</b>	<b>9</b>	<b>11</b>	第 7 位(4.9%)
Mount Saddleback (Worsley) B.M.			6	
Trombetas B.M.(ブラジル、15%)	3	2	3	
Lelydorp III B.M.(スリナム、58%)			2	

アルミナ(kt)	<b>3,841</b>	<b>4,396</b>	<b>4,554</b>	
Worsley(豪 WA,86%)	3,054	2,924	3,035	日本アルミ 10、 双日 4%
Paranam(ブラジル,45%)	78	935	983	'09 年 7 月売却
Alumar(ブラジル Para,36%)	709	537	536	Alcoa60%
アルミニウム(kt)	<b>1,241</b>	<b>1,233</b>	<b>1,298</b>	
Hillside(南ア KN,100%)	710	702	695	
Bay side(南ア KN,100%)	98	99	168	
Alumar(ブラジル,40%)	174	177	178	Alcoa60%
Mozal(モザンビーク,47.1%)	259	255	257	三菱商事 25%,IDCSAL24%,モザンビーク政府 3.9%
ダイヤモンド(k carats) Ekati(加 NT、 80%)	<b>3,050</b>	<b>3,221</b>	<b>3,349</b>	
石炭計(kt)	<b>103,512</b>	<b>102,817</b>	<b>116,061</b>	
原料炭(kt)	<b>37,381</b>	<b>36,416</b>	<b>35,193</b>	
一般炭(kt)	<b>66,131</b>	<b>66,401</b>	<b>80,868</b>	
原油(k bbl)	<b>84,387</b>	<b>66,328</b>	<b>57,444</b>	
天然ガス(b cubic feet)	<b>368.6</b>	<b>362.8</b>	<b>366.5</b>	
LNG(k barrels)	<b>12,749</b>	<b>11,176</b>	<b>11,533</b>	

※世界シェアについて、「企」は企業としてのランキングを示す。

#### 4) 沿革

BHP は、1885 年豪州 Broken Hill における鉱山開発を目的に設立された。その後、資源関連企業を次々と買収することで、鉄鉱石などの鉄関連分野、更には石炭、石油、天然ガスなどのエネルギー資源分野に進出し、売上高、利益率などにおいて世界トップを競う総合資源メジャーに成長した。

#### < BHP >

- 1885 年 ・ 探鉱、開発のために組織されたシンジケートが、豪州 NSW 州 Broken Hill において、当時世界最大と言われた銀・鉛・亜鉛鉱床を発見した。シンジケートは、自らが創立者となって BHP を設立。
- 1888 年 ・ 世界 3 位の銀生産者となった。その後、BHP は、Broken Hill 鉱山の衰微に伴い鉄を中核として事業を展開した。
- 1899 年 ・ 豪 SA 州の鉄鉱石鉱床(Iron Knob、Iron Monarch)の鉱業権を取得する。
- 1915 年 ・ Sydney 北部で鉄鋼生産を開始した。
- 1935 年 ・ Australian Iron and Steel Ltd.を買収し、新たな溶鉱炉建設など積極的な活動を展開した。
- 1939 年 ・ 発祥地である Broken Hill 鉱山の操業停止。
- 1950 ~60 年代 ・ 鉄関連事業を継続する一方で、新たな活動領域を求めて石油及び天然ガス資源の開発に乗り出した。
- 1968 年 ・ Ok Tedi 鉱山(PNG)が Kennecott Copper Company の地質技師によって発見された。
- 1970 ~80 年代 ・ 前半、企業買収、新規プロジェクトの立上げ、既存プロジェクトの拡張により事業を拡大した。中でも Ok Tedi(PNG)及び Escondida(チリ)両銅・金鉱山への参入が特筆される。
- 1975 年 ・ Ok Tedi に関し、Kennecott 社の撤退を受けて、BHP を中心とするコンソーシアムが権益を取得した。
- 1980 年 ・ Ok Tedi に関し、PNG 政府によりプロジェクトの承認を受けた。
- 1981 年 ・ Escondida 銅鉱床が Getty Minerals と Utah International の J/V により発見。

- 1984年 ・ BHP は、Utah International を買収することによって Escondida に参入。
- 1989年 ・ Pacific Resources Inc.社を買収し、石油精製及びその下流分野に進出。
- 1996年 ・ BHP の 100%子会社 BHP Sub Inc.が Magma Copper を買収し、米国、ペルーにおける両社の銅資産を統合した。この際、BHP Sub Inc.は BHP Copper と社名を変更し、当時世界 2 位の銅生産者となった。
- 1999年 ・ 銅の価格低迷と高コスト体質により 8 月までに米国銅資産の操業を全て停止した。

#### < Billiton >

---

- 1860年 ・ Billiton は、当時オランダ領であったインドネシア群島の錫鉱山開発のために設立され、現在は豪州、南ア、南米を中心に事業を展開しており、アルミニウム、ニッケル等の大生産者である。インドネシア群島の鉱山開発のために設立された同社は、当初オランダで錫及び鉛製錬を行っていた。
- 1940年代 ・ インドネシア及びスリナムでボーキサイトの開発を開始した。
- 1970年 ・ Royal Dutch Shell Group が Billiton を買収した。
- 1994年 ・ Gencor が Royal Dutch Shell Group から Billiton を買い取った。
- 1997年 ・ Gencor の貴金属以外の資産が分離独立し、現在の Billiton となった。
- 2000年 ・ 10 月、Rio Algom を買収し、優良な銅資産(生産中の銅鉱山 : Cerro Colorado(100%、チリ)、Alumbrera(25%、アルゼンチン)、Highland Valley(33.6%、加)、開発待ち資産 : Spence(100%、チリ)、Antamina(33.6%、ペルー)、Crandon(100%、米)を獲得することとなった。なお、Rio Algom 買収に際して、Noranda や CODELCO も名乗りを挙げていたが、最終的には Billiton が買収に成功した。
- 2001年 ・ 4 月、Anglo American は、所有していた Billiton の 165 万株(7.1%相当、754.3mUS\$)を機関・有資格投資家に売却。

#### < BHP Billiton >

---

上記に示すとおり 2 社は、鉱種、事業対象地域に重複がなく、相互補完の関係にあり、両社の合併は金属鉱物及びエネルギー資源分野における、ダイナミックかつ有能な経営陣による強力な資源開発企業に成り得るものと判断された。2001年6月29日、正式に BHP Billiton としてのスタートを切った。この合併では、両社は Dual Listed Companies(DLC)として統合的な経営を行う本社を Melbourne に置き、その下に、BHP Billiton Ltd.(豪)と BHP Billiton plc.(英)の 2 社体制の企業組織とするもので、それぞれ、これまでどおり豪 Melbourne と英 London 市場を主要市場として上場し経営を行っている。

- 2001年 ・ 6 月 29 日 BHP Billiton 成立。
- 2002年 ・ 2 月、長らく尾鉱の河川投棄問題を抱えていた PNG の Ok Tedi 銅・金鉱山事業からの撤退を正式に決定し、BHPB の持株 52%を PNG 政府によって新設された政府機関 “PNG Sustainable Development Program Ltd”に移譲した。
- ・ 7 月、鉄鋼事業の Flat products 部門を “BHP Steel”として分離・独立させた。既に 2000年に Long products 部門を “One Steel”として分離済みで伝統的中核事業であった鉄鋼事業から完全撤退し、非鉄・資源事業に専念することになった。
- 2003年 ・ 4 月、Alumbrera 銅鉱山(ペルー)の 25%権益を Northern Orion Exploration と Wheaton River Minerals(両社とも本社バンクーバー)に対して 90mUS\$にて売却した。
- ・ 4 月、Crandon 銅・亜鉛鉱床(米 Wisconsin 州)を有する Nicolet Minerals を Northern Wisconsin Resource Group に売却。

- ・ 5 月、Agua Rica 銅・金鉱床(アルゼンチン)の権益 72%を Northern Orion (本社バンクーバー)に総額 12.6mUS\$にて売却し Northern Orion が 100%所有者となった。
- 2004 年
  - ・ 1 月、Highland Valley 銅鉱山(加 BC)の権益 33.6%を Teck Cominco に 73mUS\$で売却。
  - ・ 2 月、Selbaie 銅鉱山(加 Quebec、100%)終掘。
  - ・ 4 月、Robinson 銅鉱山(米)の権益を Quadora Mining 社(加)に 14.3mUS\$にて売却。
  - ・ 5 月、Worsley アルミナ生産拡張計画(豪、86%、投資額 192mUS\$、アルミナ年産能力を 250kt 増強し 3.5mt とする)を承認(2006 年上期増産生産開始予定)。
  - ・ 10 月、Spence 銅鉱床(チリ 第 II 州)の開発承認(初期投資額：990mUS\$、生産開始：2006 年 Q4 より SxEw カソード年産 200kt)。
- 2005 年
  - ・ 5 月、“Samancor Chrome”をロシア Kerman Group に 469 mUS\$で売却した。同社のフェロクロム年間生産量は約 1mt で、Xstrata(スイス)と並んで世界最大のフェロクロム生産者であった。
  - ・ 6 月、豪州 “WMC Resources(※)” を Xstrata との買収合戦の末、7.3 bUS\$で買収した。資源・非鉄業界では過去 3 番目に相当する大型 M&A 案件となった。
  - ・ 10 月、Escondida Norte 鉱床の生産開始(投資額 400mUS\$)。
  - ・ 11 月、Escondida でモリブデン回収の検討開始を発表。
- 2006 年
  - ・ 5 月、Tintaya 銅鉱山(ペルー、年産規模銅量 100kt)の権益を周辺の未開発鉱区 (Antapaccay、Corrocohuayo)を含め Xstrata に売却することで合意。売却金額は 750mUS\$。
  - ・ 5 月、チリ北部で 30 年以上に亘って 300MW 以上の電力を供給する石炭火力発電所建設のための国際入札を発表。
  - ・ 6 月、Norilsk Nickel とロシアにおける探鉱・開発の包括的提携を発表。現地法人の出資比率は Norilsk 51%、BHPB 49%。
  - ・ 8 月、Escondida 銅鉱山で発生したストライキで不可抗力条項を発動。
  - ・ 8 月、2006/05 年度財務報告にて純利益 10.5bUS\$が豪州史上最高額達成。
  - ・ 8~12 月、銅精鉱売買契約交渉でプライス・パーティシペーション(PP)廃止を要求し、最終的には年末に中国・韓国のスメルターに続き日本側も PP 廃止を承諾。
  - ・ 10 月、CODELCO と共同で 2000 年に設立した Alliance Copper 社(高砒素 Alejandro Hales 鉱床の硫化精鉱のバイオリーチング技術研究)はコストの問題で実用化は無理と判断され解散。
  - ・ 11 月、Escondida 銅鉱山は中国スメルターと 2007 年売鉱交渉を開始、TC:60US\$/t(2006 年 90US\$/t)、RC:6¢/lb(同 9¢/lb)、PP 無しの値下げ案を提示。韓国・日本企業も 2007-08 年銅交渉において同条件で決着した。
  - ・ 11 月、Ravensthorpe ニッケル鉱山開発(豪 WA 州、2008 年生産開始)の CAPEX を 1.4bUS\$から 2.2bUS\$に増額すると発表。
  - ・ 12 月、Spence SxEw 銅鉱山(チリ 第 II 州)試験操業開始。
- 2007 年
  - ・ 1 月、Pinto Valley 銅鉱山(米 AZ 州)の硫化鉱生産再開が役員会で承認。
  - ・ 3 月、RGP4 プロジェクト(豪 WA 州の鉄鉱石増産計画、155mt/年の増産体制を 2010 年開始)を決定。
  - ・ 3 月、Spence SxEw 銅鉱山の本格操業(200kt/年)開始を発表。
  - ・ 4 月、Sangaredi プロジェクト(ギニア共和国(西アフリカ)、ボーキサイト鉱山(9mt/年)、アルミナ製錬(3mt/年))の権益 33.3%を取得。
  - ・ 5 月、Illawarra 石炭部門の Elouera 石炭鉱山(豪 NSW 州、2005 年~07 年 3 月間委託

採掘)を Gijarat 社に売却。

- ・ 7 月、Koorfontein 石炭鉱山(南ア、100%所有)を BEE(Black Economic Empowerment) コンソーシアムに売却(60mUS\$)。
- ・ 10 月、Marius Kloppers 氏(同社非鉄部門担当役員、46 歳。93 年、McKinsey から Billiton に転職)が CEO に就任。
- ・ 10 月、Pinto Valley 銅鉱山(米 AZ 州)、銅精鉱生産再開。
- ・ 11 月、Rio Tinto に対する買収提案を発表(Rio Tinto はこれを拒否)。
- ・ 12 月、Samancor Manganese(BHPB 60%、Anglo American 40%)は Hotazel マンガン鉱山の採掘、探鉱権の 26%を BEE 企業 HMM 社に売却すると発表。
- ・ 12 月、空中重力探査技術 “Falcon”の 2010 年 4 月以降の所有権を Fugro 社に売却。
- ・ 12 月、豪 NSW 州 Illawarra 石炭鉱山(BHPB は 2005 年に終掘)を Elouera 社に売却。
- 2008 年
- ・ 1 月、豪 QL 州 BMA(三菱商事との原料炭 JV)は悪天候でフォースマジュール発動。
- ・ 1 月、宝鋼集团公司(Baosteel)と 10mt・10 年間の鉄鉱石売鉱契約。
- ・ 1 月、南ア電力公社 Eskom からの要請を受けアルミ製錬の電力消費量 10%減。
- ・ 2 月、Chinalco と Alcoa が BHPB による RT 買収阻止を目的として RT 株式の 9%を取得。
- ・ 2 月、豪 WA 州での鉄鉱石生産増強に CAPEX 1.094bUS\$を役員会で承認。
- ・ 2 月、豪 QL 州での 1、2 月間の豪雨にて炭鉱生産への影響(3.7~4.6mt)を発表。
- ・ 5 月、豪 WA 州 Worsley アルミナの増強計画(CAPEX 1.9bUS\$、権益 86%)を承認。
- ・ 5 月、南アの Optimum Colliery 燃料炭炭鉱及び Richards Bay 燃料炭積出港の権益 65%を BEE 企業 OCH 社に売却。
- ・ 6 月、豪 QL 州 BMA(三菱商事との原料炭 JV)は洪水被害により再度フォースマジュール発動。
- ・ 6 月、鉄鉱石資源量大幅増を発表(豪 WA 州鉄鉱石：資源量 46%増・埋蔵量 23%増、Samarco 鉄鉱石：資源量 11%増・埋蔵量 30%増、Samancor マンガン鉱：資源量 82%増)。
- ・ 7 月、宝鋼集团公司(Baosteel)と鉄鉱石価格合意(Fine144.66 ¢ /dmtu、Lump201.69)。2007 年比最大 96.5%値上げ。
- ・ 7 月、Anglo Potash Ltd の全株を買収(8.15C\$/株)。
- ・ 7 月、日本電工はマンガン鉱石価格交渉を 4 半期毎に行うこと、7-9 月期は前 7-6 月期比 1 割引上げで合意。
- ・ 7 月、豪 QL 州 BMA(三菱商事との原料炭 JV)は New Hope 社から New Saraji 原料炭鉱区を 2.4bUS\$で 100%買収合意(9 月 10 日手続完了を発表)。
- ・ 7 月、Escondida 周辺で 2007 年に新鉱床 Pampa Escondida を発見したことを発表。
- ・ 7 月、日本銅製錬大手との間で銅精鉱の年央交渉(08 年 7 月~09 年 6 月)決着 (TC40\$/RC4 ¢ と予想)。
- ・ 9 月、日本の公正取引委員会からの RT 買収計画提出を求める報告命令書の受取り拒否。
- ・ 9 月、日本の公正取引委員会、RT 買収計画の提出を求める報告命令書を公示。
- ・ 10 月、ACCC(豪競争・消費者委員会)は Rio Tinto 買収容認を発表。
- ・ 10 月、ASIC(豪安全・投資委員会)は Rio Tinto 買収を承認(原則、関連権益の上限 90%)。
- ・ 10 月、Escondida 銅鉱山の Laguna Seca 選鉱場の SAG ミルの故障により 9 ヶ月間の



不可抗力条項を宣言。

- ・ 11 月、日本の公正取引委員会の求めに応じ報告命令書準備を発表。
  - ・ 11 月、インドネシア東部でのニッケルの総合開発の検討終了を発表。
  - ・ 11 月、豪 WA 州 Yeelirrie ウラン開発プロジェクトの再開を発表。
  - ・ 11 月、Samarco(鉄鉱石・ペレット、ブラジル、50%権益)を需要低迷により 2009 年 1 月半ばまで一時休止を発表。
  - ・ 11 月、RT 買収断念を発表(株主の利益を尊重と声明。EC(欧州委員会)が鉄鉱石と原料炭の資産売却を求めてくる可能性があると言及)。
  - ・ 11 月、豪 WA 州鉄鉱石増強計画 RGP5 の投資額 4.8bUS\$ を承認。
  - ・ 11 月、豪 WA 州 Ravensthorpe ニッケル鉱山と Yabulu 製錬所の減産を発表。
  - ・ 11 月、投資家向けプレゼンで Olympic Dam の年産銅量を 2013 年までに 11%増強(銅 180kt→200kt、酸化ウラン 4.5kt、金 120koz(3.7t))する計画の 5 段階中 1 段階の完了を発表。
  - ・ 11 月、PT Antam とのニッケル開発プロジェクトから長期戦略に合致しないとして撤退。
  - ・ 12 月、Samancor のマンガン減産を発表(2009/08 年度に鉱石 21%(-1.5/7.0mt)、合金 23%(-170kt/725kt))。
  - ・ 12 月、日本の公正取引委員会、BHPB による RT 買収計画の審査打ち切りを発表。
- 2009 年
- ・ 1 月、中国大手銅製錬企業と 2009 年 TC/RC は 08 年比 60%増の 75US\$/7.5¢ で合意。
  - ・ 1 月、豪 WA 州 Ravensthorpe ニッケル鉱山の操業無期停止と Yabulu 製錬所での同鉱山産 Ni-Co 混合水酸化物の処理停止、鉱石処理のみとすると発表。2,100 名を人員整理。
  - ・ 1 月、資源需要の落ち込みに対処し 6 月末までに 6,000 名の人員整理を発表。
  - ・ 3 月、新日鐵と原料炭価格交渉で 2008 年比 6 割安の 120US\$/t 前後で合意。
  - ・ 3 月、豪州雨季の大雨による影響で石油・鉄鉱石・燃料炭・ニッケル・銀・鉛の生産減。
  - ・ 5 月、豪 SA 州北部 Olympic Dam 鉱山拡張の EIA 承認を得た。
  - ・ 5 月、新日鐵、JFE はじめ高炉 5 社と 2009 年鉄鉱石価格を前年比 33%値下げ合意。
  - ・ 6 月、豪 WA 州での鉄鉱石生産に関する Rio Tinto と対等の生産会社設立で合意(統合効果は 10bUS\$以上、Chinalco への違約金 275.5mUS\$も JV が支払い)。
  - ・ 6 月、世界鉄鋼協会(WSA)は BHPB と RT の鉄鉱石事業統合に反対声明。
  - ・ 7 月、Alumar アルミナ精錬(ブラジル)の拡張ベース(1.5→3.5mt/年)での初出荷(Alcoa 54%、BHPB 36%、RT Alcan 10%)。
  - ・ 8 月、インドネシア・エネルギー・鉱物資源省へ同国内の全資産を売却するという書簡を送付。Purnomo 同省大臣も書簡受領を認めた。
  - ・ 8 月、Escondida 銅鉱山の Laguna Seca 選鉱場の SAG ミルの修理が完了し稼働を再開。これに伴い、2008 年 10 月 10 日に発効した不可抗力条項は解除。
  - ・ 10 月、Olympic Dam 鉱山(豪 SA 州)の Clark Shaft(立坑)設備破損により、一時操業停止。11 月 18 日から修復工事開始、完全復旧は 2010 年 3 月頃の見込み。その間は小型の Whenan Shaft を使用して鉱石運搬し生産能力の 25%生産を継続。
  - ・ 10 月、Escondida 銅鉱山(チリ II)の労組は、2009 年 12 月 5 日期限の労働契約について、早期支給を受入れて鉱山側と合意リスト回避。

- ・ 10 月、Spence 銅鉱山(チリⅡ)でスト、11 月 23 日妥結。42 日間の民間鉱山企業のストは最長記録。
  - ・ 10 月、豪 WA 州 Ravensthorpe ニッケル鉱山の売却先の有力候補として Minara Resources(Glencore の豪子会社)と中国冶金科工集团公司の 2 社が浮上。Minara 社は、中国金川集团有限公司(Jinchuan)との共同買収を計画していたが、Jinchuan は資産価値に懸念を示し撤退。
  - ・ 10 月、一般紙等により、リチウムの主要生産企業 SQM の 44.67%株主である Potash Corp. of Saskatchewan が BHPB により買収される可能性が報道された。
  - ・ 12 月、RT と WA 州 Pilbara における鉄鉱石生産の合弁事業に合意したことを発表。2010 年 H2 には、両社が 50%権益を保有する合弁会社を設立し、事業統合により 10bUS\$のコスト削減を見込む。WA 州 Pilbara における両社の鉄鉱石生産量は年間約 260mt であるが、RT の生産量が BHPB よりも多い事から、均等化のため、BHPB は新設合弁会社の株式 50%取得に当り、5.8bUS\$を支払う。
  - ・ 12 月、豪 WA 州 Ravensthorpe ニッケル鉱山(OP,HPAL,Ni-Co 水酸化物年産 50kt)を First Quantum Minerals に 340mUS\$にて売却(1~3 月中に完了予定)を発表。
- 2010 年
- ・ 1 月、自動化とロボット、リーチング等の鉱業サービス提供産業の発展に協力していくことで CODELCO と合意。
  - ・ 2 月、豪 WA 州は BHPB と RioTinto への鉄鉱石優遇ロイヤルティ(通常 5.625→3.75%)撤廃を明言。
  - ・ 2 月、上海宝鋼集団、宝山鋼鉄など中国大手鉄鋼メーカーと資源大手 3 社(BHPB,Rio Tinto,Vale)との 2010 年の鉄鉱石価格交渉開始。3 社側は、日韓の鉄鋼メーカーに 40%値上げを求める一方、中国側は 30%以上の値上げに難色。
  - ・ 2 月、Yeelirrie ウランプロジェクト(WA 州)でのヒープ・リーチング法が経済的でないとして酸化ウラン精鉱の年産量を 5,000t→3,500t に引下げた。
  - ・ 2 月、Escondida、Cerro Colorado、Spence の各銅鉱山におけるエネルギーの効率的利用及び温室効果ガス排出量削減を目的とした調査業務を開始。
  - ・ 4 月、WA 州は、Rio Tinto との Pilbara 地域の鉄鉱石事業統合に関し両社の鉄道輸送キャパシティの 10%を中小の鉱山会社が利用できるように求めた模様。
  - ・ 4 月、現地報道によるとアルミ価格回復を受け西アフリカのギニア Sangaredi Alumina プロジェクト開発(年産 9 万 t のボーキサイト鉱山及び年産 3 万 t のアルミナ製錬所)に向けた投資を開始する模様。
  - ・ 4 月、現地報道によると南アフリカ Eskom が 9 月末までに電力費を約 0.5A¢/kWh →0.6A¢/kWh に値上げの姿勢を示しており、南アとモザンビークに投資するアルミニウム精錬事業からの撤退も検討している模様。
  - ・ 4 月、Escondida 鉱山の硫化鉄鉱石リーチング用の新パッド建設等の操業最適化プロジェクト 3 件につき、10 億 US\$の投資計画を 2010 年中に決定すると発表した。さらに第 V フェーズの Los Colorados 選鉱場に代わる新選鉱場建設の拡張プロジェクト(設備投資額は約 25 億 US\$)が 2011 年に FS に移行する。
  - ・ 4 月、撤退済プロジェクト(プロジェクト名非公表)で米国反汚職法違反の可能性があり、当局の調査に協力していると発表。カンボジア地元紙は 2009 年撤退済の Mondolkiri 州ボーキサイト探鉱事業で政府関係者への不正資金提供(2.5mUS\$)の可能性を指摘。
  - ・ 4 月、CODELCO は役員会が新しい CEO として現 BHPB ベースメタル部門の社長 Diego Hernandez 氏を指名することを決定したとプレス発表した。
  - ・ 5 月、SA 州は連邦政府の資源超過利潤税(RSPT:Resource Super Profits Tax)案を批判

- し、Olympic Dam 鉱山の拡張(投資額 220 億 A\$, SA 州への経済効果 10 年間で 250 億 A\$)に向け、BHPB と共に、連邦政府に同税の見直しを働きかける意思を表明。
- ・ 5 月、WA 州鉱山大臣は RSPT 導入が、ウラン鉱山開発が解禁された 2008 年以降に WA 州で進められている Yeelirrie プロジェクトを含む 3 件のウラン開発プロジェクトに影響を与えることを懸念。
  - ・ 6 月、Cerro Colorado 鉱山と Spence 鉱山を合わせて経営管理する Pampa Norte ディヴィジョンの創設を発表。新ディヴィジョンによりチリ北部の BHPB の存在基盤を強固にし、成長と発展のプラットフォームを築く。
  - ・ 6 月、WA 州は BHPB、Rio Tinto との間で鉄鉱石ロイヤルティ値上げにつき基本合意に至った。新税率適用により WA 州のロイヤルティ歳入は年間 340m\$増となる見込み。2010 年 7 月 1 日から、ロイヤルティ税率が以下のように修正される。粉鉱：3.75%から 5.625%、塊鉱：7.5%、選鉱済み鉱石(Beneficiation Ore)：3.25%から 5.0%。
  - ・ 6 月、リベリアの Goe Fantro、Kintoma、St.John River South、Tolo Range 鉄鉱石プロジェクトの開発に向けリベリア政府と合意したと報じた。総投資額は 30 億 US\$と言われている。
  - ・ 6 月、BHPB と Rio Tinto の WA 州 Pilbara 地区の鉄鉱石生産統合事業を審査している ACCC(豪州競争消費者委員会: The Australian Competition Consumer Commission)は、7 月 22 日の最終決定を改めて延期。両社は、ACCC に対し欧州委員会の審査期限が明らかにされていないため、最終決定を 2010 年末まで延期するよう求めている。両社の合意条件である「2010 年 12 月 31 日までに政府当局からの承認を得る」に合わせた最終期限での判断を ACCC に求めた形となる。
  - ・ 6 月、Jansen プロジェクト(カナダ SK 州にあるカリウム採掘用の盆地が対象)で想定される埋蔵量は 3,370mt、品位(K<sub>2</sub>O 含有率)は 25.4%と発表。
  - ・ 7 月、BHPB、Rio Tinto、Xstrata の 3 社は、豪州連邦政府が、資源超過利潤税(Resource Super Profits Tax)を鉱物資源使用税(MRRT: Mineral Resource Rent Tax)に置き換える提案を公表したことを歓迎すると発表した。
  - ・ 8 月、Potash Corporation of Saskatchewan (PotashCorp)に対し、1 株当たり 130US\$での買収を提案した。これまで、PotashCorp の取締役会は話し合いを拒否している。1 株 130US\$は BHPB が買収を提案した前日の終値に 20%、過去 30 日平均では 32%のプレミアムをつけた有利なものとしている。BHP では買収に要する資金を、PotashCorp の既存の借入金の返済などを含め、43bUS\$とみている。
  - ・ 9 月、世界最大手の鉄鋼メーカーの ArcelorMittal との間で 2010 年 1 月から行ってきた西アフリカのリベリア、ギニアでの鉄鉱石合弁事業に関し、商業協定に至らなかったとして交渉の打ち切りを発表した。西アフリカでの鉄鉱石事業を独自に開発するとしている。
  - ・ 9 月、BHPB は 1 株当たり 130\$での買収を提案している PotashCorp から、PotashCorp Shareholder Rights Plan(買収防止策としての既存株主優遇制度)の制定と同時に訴訟を起こされたと公表した。
  - ・ 9 月、豪州西部の Exmouth サブ盆地の Macedon ガス開発を承認したことを発表した。初回生産は 2013 年中を予定している。Macedon 地区の可採埋蔵量は 400b から 780b 立方フィートである。プロジェクトコストは約 1.5bUS\$であり、BHPB が 71.43%(約 1,050m\$)を占める。残りの 28.57%は JV パートナーである Apache Northwest が出資する。
  - ・ 10 月、BHPB と Rio Tinto は、豪州西部における鉄鉱石生産の JV 設立につき、現

時点での提案を禁止するとしたドイツ連邦反カルテル局による通告を受けたことを通知した。

- ・ 10月、BHPB及びRio Tintoは、2009年12月5日に締結したWA州Pilbara地域における鉄鉱石の生産統合事業に向けた合意を解消すると発表した。
- ・ 11月、PotashCorpの発行済株式総数(自己株式を除く)の買付による買収断念を発表した。BHPBは、カナダ投資法に基づくカナダ産業省によるこの買収の条件は満足できるものではないという結論を出し、この買付を断念した。
- ・ 11月、Western Australia Iron Oreの持続的な成長を支えるため、635mUS\$(BHPBの投資額は570mUS\$)の追加投資を承認したことを発表した。

- 2011年
- ・ 1月、VIC州沖のGippsland盆地におけるEsso Australia操業のKipper及びTurrumプロジェクトへの増資を承認したことを発表した。Kipperへの資本支出は900mUS\$まで増加し、施設は2012年に完成する見込みである。初回生産の時期は、水銀問題の解決の時期次第である。Turrumへの資本支出は1,350mUS\$に訂正され、2013年に生産が開始される予定である。
  - ・ 2月、Chesapeake Energy Corporationの、米国のFayettevilleシェールガスの中間パイプラインシステムを含む全ての権益を、グループの現金資金から4.75bUS\$を拠出して買収することに合意したことを発表した。
  - ・ 3月、Western Australia Iron Ore事業における継続的な生産増加のため、7.4bUS\$(うちBHPBの出資比率は6.6bUS\$)の資本投資を承認したことを発表した。同事業は年間220mtを超える生産能力を持ち、新しいJimblebar鉱山からの初回生産は2014年初期を予定している。
  - ・ 3月、豪州のNSW州のHunter Valley Energy Coal拡張のため、400mUS\$の投資を承認したことを発表した。  
この拡張はRX1 Projectとして知られ、Mt Arthur石炭鉱山の原炭生産量を年間4mt増加させ、年間生産量を約24mtにすることが可能である。
  - ・ 3月、豪州のCentral Queensland地区Bowen盆地にある3つの主要な原料炭プロジェクトを承認した。このプロジェクトは、Daunia事業とBroadmeadow地区の新しい産炭地を通して、年間4.9mtの鉱山生産能力(100%ベース)を追加する予定である。さらに、Hay Point Coal Terminalにおいて年間港湾能力(100%ベース)を11mtに発展させる予定である。総投資額は5bUS\$であり、BHPBの投資額は2.5bUS\$である。
  - ・ 3月30日、Escondida Ore Access(EOA)計画を承認したことを発表した。EOA計画は現在メインピット中にある破碎及び運搬設備を高品位鉄鉱石へのアクセス改善のために移設し、2013年からの生産力向上に寄与するもの。この計画には554mUS\$(BHPBの出資比率は319mUS\$)のコストが見込まれており、2012年中頃に完了の予定。
  - ・ 4月、メキシコ湾深海における油井事故に対する迅速な対応能力をもつNPO法人、Marine Well Containment Company (MWCC)に参加することを発表した。
  - ・ 4月、Port HedlandにおけるOuter Harbour施設発展の提案について、連邦政府及びWA州政府から承認を得るため、Public Environmental Review/ Draft Environmental Impact Statement(環境影響評価報告準備書)を提出した。
  - ・ 4月、鉄鉱石大手のValeと、ブラジルMinas Gerais州で共同でペレット生産を行っているSamarco JV(50:50)の拡張計画(3.5bUS\$、BHPBの出資比率分1.75bUS\$)を実施することで合意した。ペレット生産を8.3mt/年増産して30.5mt/年とすることとし、2014年の完成をめざす。計画にはGermano鉄鉱石鉱山拡張、400kmのスラリー輸送能力増強、積み出し港Ponta Ubuの第4ペレットプラント建設を含む。

- ・ 5月、カナダ北西部のEKATI Diamond 鉱山において、Misery open pit project を承認したと公表した。剥土作業は2011年10月、鉱石生産は2015年後半、Miseryからの生産は2017年半ばから開始される予定である。
- ・ 5月、トリニダード・トバゴ沖のAngostura Gas プロジェクトにより、ガスが生産されはじめたと公表した。この新しいガス輸出プラットフォームは280m 立方フィート/日のガス生産能力を持ち、Greater Angostura Field 内の既存の企業施設に並行して建設されている。このプロジェクトはスケジュール通り、また予算通りに実行された。
- ・ 5月、南豪州におけるOlympic Dam 事業拡張のための最終修正環境影響調査報告書を提出した。政府承認プロセスの一環として、BHPB は2010年12月初めに修正環境影響調査報告書を豪州、南豪州、北部の各州政府に提出していた。各州政府はBHPB に許可する前に、この修正環境影響調査報告の適正をチェックしていた。
- ・ 6月、豪州高等裁判所は、BHPB と豪州税務局とのHot Briquetted Iron プロジェクトに関する税の係争につき、BHPB の勝訴を決定した。この係争は、Hot Briquetted Iron plant に対し、BHPB が主張した資本控除の回収に関するものであった。この結果、約580mUS\$の所得税控除が、特別項目としてBHPB の2011年6月決算に計上される予定である。
- ・ 6月、BHPB Petroleum は、メキシコ湾深海において、2010年5月に一時停止が制定されて以来初めて、新しい油井による生産を開始したことを発表した。BHPB が操業するShenzi field において、2011年5月30日に生産を開始した。SB-201 油井は25,126 フィートの深さまで掘削され、現在、約17,000 バレル/日の石油を生産している。
- ・ 6月、BHPB と University College London は、英国のLondon に Institute for Sustainable Resources(環境保全型資源研究所)、及び豪州のAdelaide に International Energy Policy Institute(国際エネルギー政策研究所)を開設することについて合意したことを発表した。  
これら二つの研究所は、資源セクターが直面している複雑な経済、法律、環境、テクノロジー及び文化の問題について研究し、また、北半球と南半球で共有でき、革新的な発展を可能にする専門的意見を述べるフレームワークを提供する予定である。
- ・ 6月、Worsley Efficiency and Growth (E&G)プロジェクトの予算及びスケジュールレビューを完了したことを発表した。このプロジェクトのための、Marradong 鉱山開発、精製所拡張及び多燃料コジェネレーションユニットへのコネクションを含む資本コスト推量は2,995mUS\$(BHPB が出資比率1位)に増加した。初回生産は2012年Q1を予定している。
- ・ 6月、カナダのSK州のJansen カリウムプロジェクト開発に、さらに488mUS\$を投資することを公表した。この追加契約前投資は、敷地造成と、このプロジェクトのFS 実施期間の物資調達に資金を提供するものである。
- ・ 6月、2011年2月16日に公表された10bUS\$資本拡大管理プログラムが2011年6月29日に完了したことを確認した。2010年11月15日の資本管理プログラムの再開以降に購入された株式の数は、BHP Billiton Limited が146.9m株であり、BHP Billiton Plc が94.9m株である。
- ・ 6月、カナダのSK州環境省から、Jansen カリウムプロジェクト開発を承認したとの通告を受けた。BHPB は2010年12月に環境アセスメント法に基づく環境影響表明書を提出していた。テクニカルレビュー及びパブリックレビューにより、環境省は、BHPB がこのプロジェクトの利益拡張において不利益な影響を軽減する

ための、適切な計画を策定しているとした。

- ・ 7月、Samancor Manganese(BHPB と Anglo American との JV)が豪州北部の GEMCO 事業の第 2 次事業拡大を承認したことを発表した。これは 2009 年 4 月の GEMCO 拡大計画フェーズ 1(GEEP1)のコミッショニング成功に続くものである。279mUS\$の GEMCO 拡張計画フェーズ 2(GEEP2)プロジェクト(BHPB が 60%の 167mUS\$を出資)は、GEMCO の生産能力を年間 4.2mt から年間 4.8mt へ増加させる見込みである。
- ・ 8月、西豪州鉄鉱石事業にて委託採掘を請け負っている HWE Mining の子会社を買収することについて、Leighton Holdings との覚書(HOA)にサインした。その覚書は、Area C, Yandi、Orebody 23/25 事業における採掘機材、人員、関連する資産に関わっている。買収価格は、運転資本修正価格で 735mUS\$(705mA\$)。
- ・ 8月、コロンビアの La Guajira にある Cerrejon 石炭鉱山を拡張するため、437mUS\$の投資の承認をしたことを発表した。BHPB の投資額は、Cerrejon 鉱山拡張投資額全体の 1,311mUS\$のうち 3 分の 1 を占め、JV パートナーである Anglo American 及び Xstrata が等しく残りの 3 分の 1 ずつを占める。P40 Project として知られるこの拡張プロジェクトは、Cerrejon 鉱山の販売一般炭の生産量を年間 8mt 増加させ、年間生産量を約 40mt まで増加させる見込みである。建設は 2011 年に開始され、2013 年に完了する予定である。年間生産量が約 40mt まで増加するのは 2015 年末と見込まれている。この拡張プロジェクトは BHPB の生産及び販売シェア伸ばすと見られ、Tier 1 asset(自己資本項目)を年間 10.7mt から年間 13.3mt に増やす見込み。
- ・ 8月、BHPB 及び Petrohawk Energy Corporation は 2011 年 8 月 17 日に Committee on Foreign Investment in the U.S. (対米外国投資委員会“CFIUS”)から、BHPB による Petrohawk の発行済株式総数(自己株式を除く)1 株あたり 38.75US\$の株式公開買付を含む買収合意は、国家安全保障に抵触しないという結論を出したとの通告を受けたことを発表した。  
2011 年 7 月 22 日には、BHPB 及び Petrohawk は連邦取引委員会から、この株式公開買付に関し、ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法に基づく待機期間の早期終了の通告を受けている。これらにより、株式公開買付の全ての規制認可条件が整った。
- ・ 8月、Petrohawk Energy Corporation (“Petrohawk”)の公開買付けを完了したと公表した。この公開買付は BHP Billiton Limited、BHP Billiton Petroleum (North America) Inc.、North America Holdings II Inc.の 3 社により、利息は含まず、かつ源泉徴収税対象とせず、1 株あたり 38.75US\$の現金にて取得するもので、約 293.9m の Petrohawk 株が 2011 年 8 月 19 日金曜日 NY 時間深夜 12 時に決済された。
- ・ 8月、デラウェア州法に基づく略式組織再編により、Petrohawk の買収を完了したと発表した。Petrohawk は BHPB の 100%子会社として存続する。BHPB による Petrohawk 全株式の株式公開買付けも完了した。BHPB Petroleum はこれにより生産量の年成長率が今後 10 年間で 10%上昇するとしている。Petrohawk は NY 証券取引所に上場廃止の手続きを申請した。

- ・ 8月、豪州のNewcastleにあるNewcastle Coal Infrastructure Group (NCIG)のNewcastle 港石炭取扱施設開発における第3段階開発に367mUS\$を追加投資することを承認した。BHPBは100%子会社のHunter Valley Energy Coal Pty Ltdを通して、NCIGのholding companyの株式35.5%を所有している。この湾岸拡張プロジェクトにより、石炭埠頭の総取扱能力は年間53mtから年間66mtに増加する見込みであり、最初の出航は2014年度を予定している。この拡張により、BHPBのNCGIにおける配分は、さらに年間4.6mtから年間19.2mtへ増える見込みであり、それによりNew South WalesにあるMt Arthur石炭鉱山も拡張される見込みである。この港湾拡張により、BHPBはMt Arthur石炭鉱山の成長とCaroona炭田開発の評価を着々と進めている。
- ・ 9月、メキシコ湾のMad Dog field北部における探鉱により、この地域の炭化水素原始埋蔵量は石油換算で最大4bバレルと推定した。BHPBの権益は23.9%(Chevron15.6%、BPが60.5%)。

<※参考：WMC Resources社の概要>

WMCは1933年、金鉱山操業を目的に豪Melbourneで設立され、以後、事業はほぼ全て豪州国内で行われてきた。1960年には豪WA州でボーキサイト鉱床を発見し、Alcoaと合弁でボーキサイト生産を開始、66年にはKambaldaニッケル鉱床(豪WA州)を発見し70年からニッケル生産を開始した。1980年にはQLD州にリン酸塩鉱床の権益を取得し、85年・Hi-Fert Pty Ltdの権益を取得して、化学肥料事業に参入した。

ニッケル事業は西豪州で行われ、鉱山はLeinster、Mount Keith及びKambaldaにあり、製錬所がKalgoorlieに、精製工場はKwinanaにある。

Olympic Dam銅・金・ウラン鉱山は、SA州Adelaideの北西560kmに位置するWMCの最重要な大規模鉱山で、1975年に発見され、1988年に生産を開始した。世界第4位の銅・金資源及び世界最大のウラン資源(世界の40%)を有すると言われている。

2001年12月、アルミ事業と他の非鉄金属事業などを分離し、Aluminium LtdとWMC Resourcesが誕生したが、WMCの事業は世界第3位の鉱石生産量を誇るニッケルを中心として、銅、ウラン、金及び化学肥料とした。

## 5) 事業内容

BHP Billiton(以下“BHPB”)の大きな特色は製品、事業所の地理的所在及び販売市場すべてにおいて非常に多角化していることで、世界の30か国の約100に及ぶ事業所で、約20の製品を生産・製造している。同社は、合併当初、組織を①アルミニウム(アルミニウム、アルミナ)、②ベースメタル(銅、鉛、亜鉛、金、銀)、③炭素鋼原料(鉄鉱石、原料炭、マンガン)、④ステンレス鋼原料(ニッケル、クロム)、⑤一般炭、⑥石油(原油、天然ガス)、⑦鉄鋼の7つのCustomer Sector Groupに分けて事業を展開していた。しかし、2002年7月に鉄鋼グループをBHP Steel社として分社したため、同年8月に新たなグループとしてダイヤモンド・特殊品グループ(ダイヤモンド、チタン鉱物、探鉱など)を設立している。ベースメタル部門の本部は、チリSantiagoにあるが、それ以外の本部はすべて豪Melbourneにある。2004年3月には、この7つの部門を“非鉄金属”“カーボンスチール材料”及び“エネルギー”の3分野の傘下に配する経営再編を行っている。従来は石油の比重が大きかったが、近年、ベースメタル、鉄鉱石、原料炭・燃料炭の比重も拡大している。

2009年度はLMEニッケル平均価格が前年度比で高騰(2008年度：13.3US\$/kg→2009年度：19.4US\$/kg)したことを受け、ステンレス原料の税引前利益が大幅に改善した。

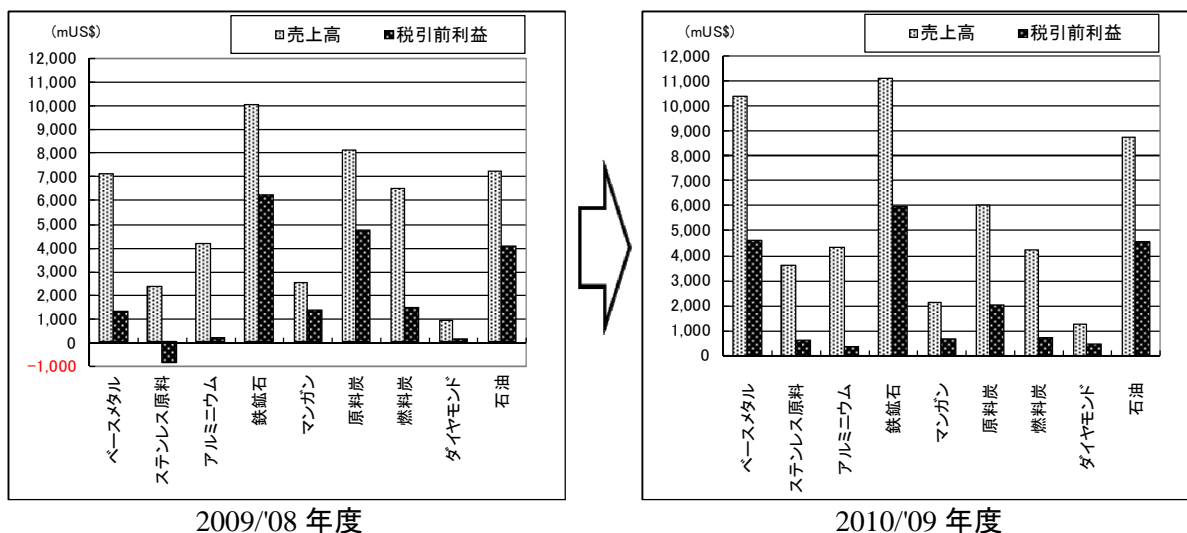


図1.4 BHPB: セグメント推移 (売上高と税引前利益)

表1.1 BHPB: セグメント別売上高、税引前利益、利益率 (mUS\$)

項目	2009/08 年度			2010/09 年度		
	Rvenues	Profit from Operation	利益率	Rvenues	Profit from Operation	利益率
	売上高	税引前利益		売上高	税引前利益	
ベースメタル	7,105	1,292	18.2%	10,409	4,632	44.5%
ステンレス原料	2,355	-854	-36.3%	3,617	668	18.5%
アルミニウム	4,151	192	4.6%	4,353	406	9.3%
鉄鉱石	10,048	6,229	62.0%	11,139	6,001	53.9%
マンガン	2,536	1,349	53.2%	2,150	712	33.1%
原料炭	8,087	4,711	58.3%	6,059	2,053	33.9%
燃料炭	6,524	1,460	22.4%	4,265	730	17.1%
ダイヤモンド	896	145	16.2%	1,272	485	38.1%
石油	7,211	4,085	56.6%	8,782	4,573	52.1%
その他	1,298	-395	-30.4%	752	-541	-71.9%
総計	50,211	18,214	36.3%	52,798	19,719	37.3%



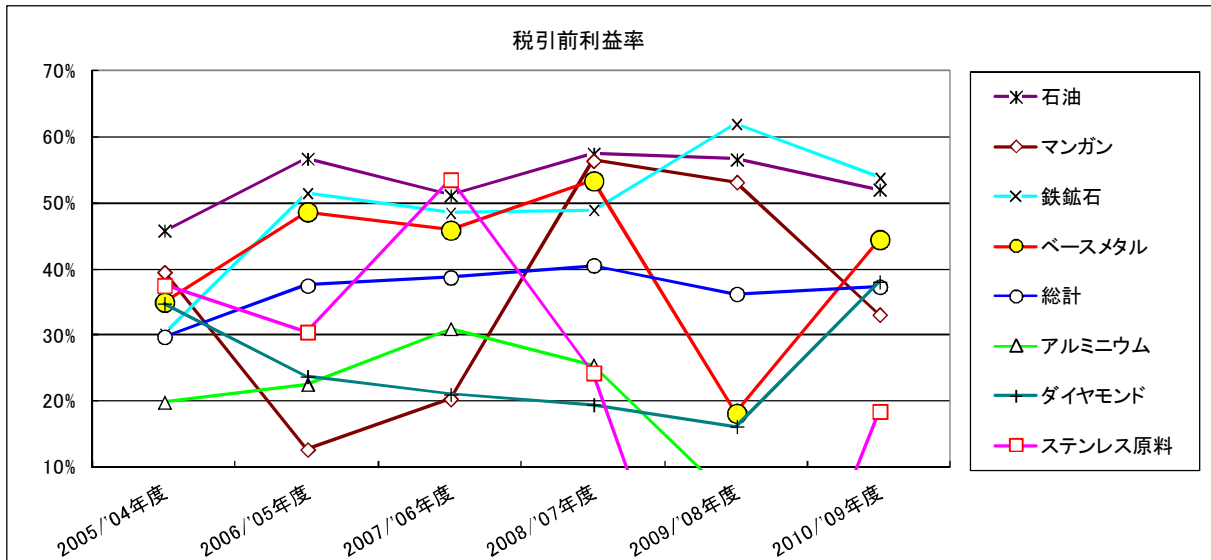


図1.5 BHPB: 分野別の税引前利益率推移

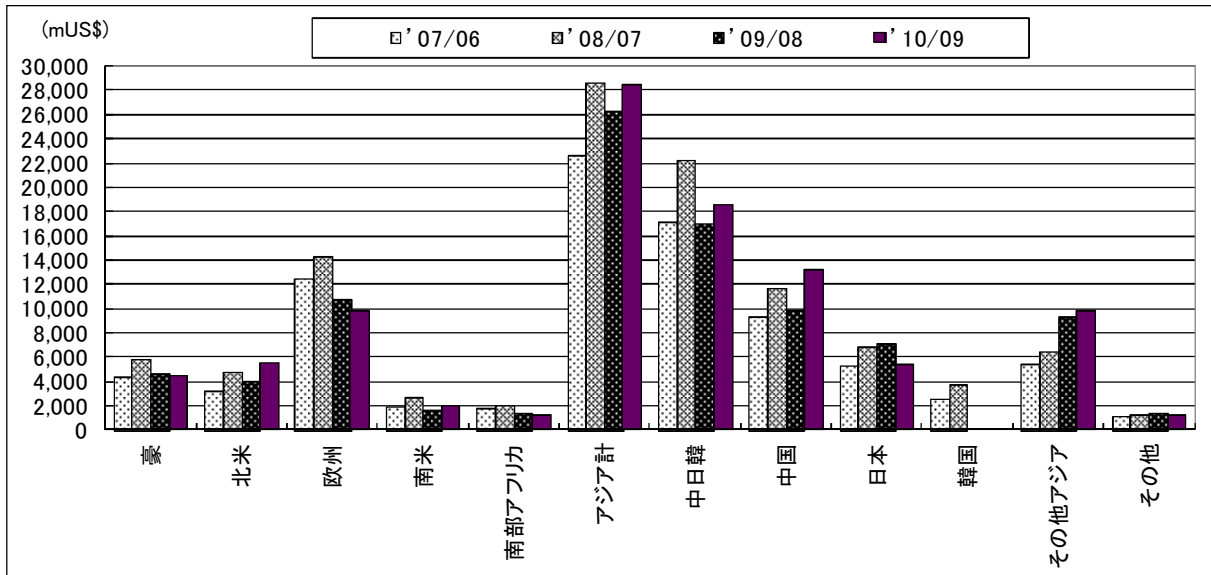


図1.6 BHPB: 地域・国別の売上高

※2009/08年度以降は韓国のデータが公表されていない。同年度以降の「中日韓」の値は韓国を除いた数値である。

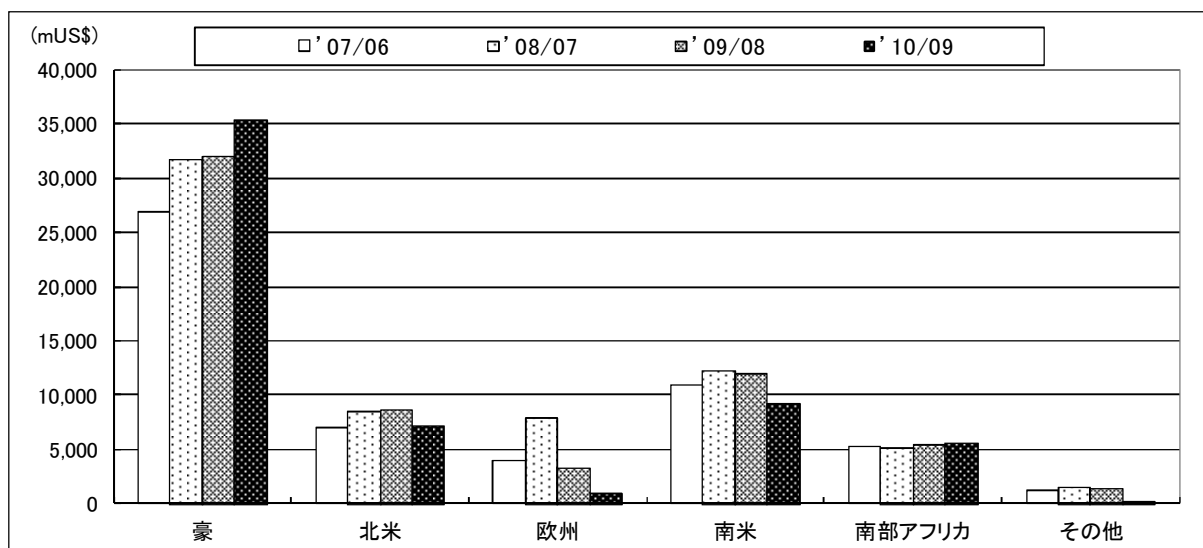


図1.7 BHPB: 地域・国別資産額の推移

### (1) 銅

BHPB は、チリに Escondida、Cerro Colorado、Spence、ペルーに Antamina、米国に Pinto Valley といった銅鉱山の権益を有する。

#### Escondida(チリ第Ⅱ州、標高 3,100mSL、Antofagasta 市の南東 170km)

Escondida は 2010 年産 1,082kt の世界最大の銅鉱山であり、同社は 57.5%の権益を有するオペレーターである。パートナーは、RioTinto 30%、Jeco 12.5%(うち三菱商事 70%、JX 日鉱日石金属 20%、三菱マテリアル 10%)である。1990 年に生産開始以来、拡張を続け投資額は硫化鉱対象 3.0bUS\$、酸化鉱対象 1.0bUS\$に上る。

2006 年 6 月に硫化鉱のリーチング SxEw プラント(330kt/年)が生産を開始した。

既存設備の周辺に Pampa Escondida と称される新鉱床(予想鉱量 1,000mt、Cu 0.8%、銅量 8mt)も含め鉱量が追加されつつあり、現在、3 基目の選鉱場のプレ FS 中である。

2008 年 10 月 5 日、3.25bUS\$投資計画を発表した。これは、選鉱処理能力を 175k~190kt/日に上げるため 2機のクラッシャーを新設、Laguna Seca 選鉱場の拡張のため、ボールミル、ペブルクラッシャー各 1 機及び 18 槽の浮選セルを設置し、Coloso 精鉱積出港の設備更新するものである。また、2 月 10 日には、銅価低下のため純利益が対前年比 10.5%減の 32.0 億 US\$、銅生産量は出鉱品位低下と Laguna Seca 選鉱場の SAG ミル故障修復による 7 月から 45 日間操業停止により 2009 年産銅量は対前年比 12%減の 1.1mt になったと発表した。2010 年 Q1 に修復が完了している。

2009 年度(2009 年 7 月~2010 年 6 月、以下同)は、同鉱山において総額 125m US\$(BHPB 分 72mUS\$)の探鉱投資を実施した。また、今後 5 年間で総額 541m US\$(BHP B 分 311mUS\$)を投資する計画も発表している。

#### Escondida Norte(Escondida の 北 5km)

Zaldivar 鉱床(Barrick Gold(2007 年以前は Placer Dome)が操業中)と隣接して胚胎する。2005 年 10 月 1 日生産開始。2003 年 6 月、開発決定、初期投資額 400mUS\$。埋蔵量は酸化鉱、硫化鉱 580 mt、品位 Cu 1.37%(カットオフ 0.7%)で富鉱部(埋蔵量 200mt、品位 Cu 2%)を含む。高品位鉱は選鉱場にて、低品位硫化鉱は建設するバクテリア・リーチング・プラントにて、酸化鉱は通常の SxEw にて処理される。鉱量 5.02 億 t、品位 Cu 1.44%、銅金属量 7.23mt で粗鉱生産量は 135kt/日の計画である。鉱石はベルトコンベヤーで既存の Los Colorados 及び Laguna Seca 選鉱プラントに運搬され処理される。なお、2010 年発表のアンニュアルレポートでは Escondida の一部として紹介があるものの詳細情報は公表されていない。

#### Escondida・低品位硫化鉱のバクテリアリーチング SxEw プラント建設

2004 年 4 月、Escondida Norte と本山の Escondida の低品位硫化鉱(埋蔵量 1,500mt、品位 Cu

0.3～0.7%)を対象として SxEw 法により年間 180kt のカソードを生産するプロジェクト(開発費用 870 mUS\$, 実績は 914mUS\$)を決定した。用水は Coloso 積出港に建設した海水淡水化プラントから供給される。バクテリアリーチングによる銅回収率は 36%とされている。

#### Spence 銅鉱床(チリ第 II 州、Antofagasta 市の北東 150km)

チリ Antofagasta の北東方に、BHPB が 100%権益を保有する Spence 銅鉱床を開発中であったところ、2006 年 12 月 6 日から銅カソードの生産を開始した。初期投資額 990mUS\$。2007 年 9 月から本格操業(200kt/年)に入る見通し。確定・推定鉱量は 310mt で品位 Cu 1.14%(Cut off 品位 0.30%)、マインライフは剥土期間(78mt、約 15 か月)を加え 19 年である。同鉱山の 2009 年度の年産銅量は 159.6kt である。

#### Olympic Dam 銅・ウラン・金鉱山(豪 SA 州、Adelaide の北西 560km)

Olympic Dam 銅・ウラン・金鉱山は 2005 年 6 月、WMC Resources の買収により獲得された。埋蔵量 756 mt で世界第 4 位の銅・金資源及び世界最大のウラン資源(世界の 30～40%)とされる。坑内掘で坑内破砕し磨鉱は 2 系列を有し、銅精鉱は Outokumpu 自溶炉(粗銅生産能力 450kt/年)更には ISA 法電解工場で電気銅が生産される。浮選尾鉱から、SxEw 銅カソード及び高品位の酸化ウラン精鉱が生産される。

拡張工事(投資額 5bUS\$)の EIS は、2011 年 10 月に最終的な承認を得るに至った。概念設計による最終的な年産能力は銅 750kt、酸化ウラン 19kt、金 800koz(約 24.9t)と発表されている。ただし、2010 年 7 月時点で鉱物資源利用税導入の影響を受け拡張計画延長の可能性がある。

同鉱山の 2009 年度の年産銅量は 103.3kt、酸化ウラン 2.3kt、金 2.0t である。

#### Antamina 銅・亜鉛・モリブデン鉱山(ペルー・Ancash 県、標高 4,300m、Lima の北 270km)

BHPB は 33.75%権益を有し、パートナーは Xstrata 33.75%、Teck 22.5%、三菱商事 10%である。2001 年 10 月に生産開始。粗鉱処理能力 70kt/日で銅・亜鉛浮選系及びビスマス・モリブデン精選系統からなる。精鉱は Huarmey 積出港まで 300km をパイプラインで流送出荷される。

2009 年度に総額 1.3bUS\$(BHPB 分 434.7mUS\$)の拡張プロジェクト投資を決定した。このプロジェクトは、現状の粗鉱処理能力を 38%増加させ 130kt/日とするものである。

#### Pinto Valley 銅鉱山(米 AZ 州、Phoenix の東 125km)

2006 年、Magma Coppe の買収により獲得された。1998 年に硫化鉱生産は終了し、以後、小規模にダンプ・リーチングによる SxEw カソード生産が継続されてきた。2006 年に硫化鉱生産再開の FS が実施された。2007 年 1 月、硫化鉱生産再開が承認され、同年 10 月、銅精鉱生産が開始された。2009 年 1 月からはメンテナンスのため鉱石採掘を中断した(SxEw は継続)。

表 1. 2 BHPB: 銅鉱山の埋蔵量 (Proven + Probable : 2010 年 6 月 30 日付) と 2009 年度生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt) ※ <sup>2</sup>	品位 ※ <sup>1</sup> (%、Au:g/t)	採掘タイプ	2010/09 年銅生産量(kt) (権益分)
Escondida(エスコンディダ、チリ II 州) 酸化鉱	57.5	139	T-Cu 0.8	OP	1,082.4 (622.3)
〃 硫化鉱(精鉱対象)		1,638	T-Cu 1.02		
〃 硫化鉱(SxEw 対象)		2,543	T-Cu 0.53		
Escondida 計		4,320	T-Cu 0.72		
Cerro Colorado(セロ・コロラド、チリ I) 酸化鉱	100	141	S-Cu 0.45	OP	85.2
〃 硫化鉱		60	S-Cu 0.13		
			T-Cu 0.70		
Cerro Colorado 計		201	S-Cu 0.35		

Spence(スペインス、刊II) 酸化鋳		28	S-Cu 0.82 T-Cu 1.09		159.6
〃 酸化鋳(難溶性)	100	35	S-Cu 0.6 T-Cu 1.19	OP	('06年12月6日、生産開始：設計能力200kt/年)
〃 硫化鋳		209	T-Cu 0.99		
Spence 計		272	S-Cu 0.16 T-Cu 0.97		
Olympic Dam(オリンピック・ダム、豪)硫化鋳	100	598	T-Cu 1.84	UG	103.3
Antamina(アンタミナ、ペルー) Cu 硫化鋳	33.75	516	T-Cu 1.06	OP	98.6(33.3)Cu 135.6(45.8)Zn
〃 Cu-Zn 硫化鋳		161	T-Cu 1.03		
Antamina 計		677	T-Cu 1.05		

※<sup>1</sup>：S-Cu は Soluble Cu、T-Cu は Total Cu を示す。

※<sup>2</sup>：BHPB のアニュアルレポートに掲載された埋蔵量は資源量の内数である。

### <売却・整理された銅鋳業資産>

2003年、旧 Billiton が2000年に買収した Rio Algom 資産はじめベースメタル部門の構成の全体見直しの結果、次のとおり銅資産の売却・整理を行っている。

2003年4月 Alumbraer 鋳床(アルゼンチン Catamarca)の権益25%売却

2003年4月 Crandon 銅・亜鉛鋳床(米 Wisconsin) 売却

2003年5月 Agua Rica 銅・金鋳床(アルゼンチン Catamarca) 売却

2004年1月 Highland Valley 銅鋳山(加 Quebec)の権益33.6%売却

2004年2月 Selbaie 鋳山(加 Quebec) の終掘

2004年4月 Robinson 銅鋳山(米 Nevada) 売却

2006年5月 Tintaya 銅鋳山(ペルー Cuzco) 売却

### (2) 鉛・亜鉛

Cannington 鉛・亜鉛・銀鋳山(豪 QLD 州)及び、Antamina 銅・亜鉛・モリブデン鋳山(ペルー Ancash 県)を有する。

表1.3 BHPB：埋蔵量 (Proven + Probable：2010年6月30日付)と2009年度生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位 (%)	採掘タイプ	'09 生産量 (kt)
Cannington(キャンントン、豪 QLD)	100	27	Pb 7.2	UG	Pb 345.4
			Zn 3.7		Zn 62.7
Antamina (Sulfide Cu-Zn、アンタミナ、ペルー Ancash)	33.75	161	Zn 2	OP	Zn 401.8(135.6)

#### Cannington 銀・鉛・亜鉛鋳山(豪 QL 州、Mt.Isa の南東 300km)

1990年に鋳床が発見され、1997年に精鋳生産が開始された。2003年2月に粗鋳処理能力と実収率の改善がなされた。磨鋳はAGミル、タワーミルからなり、浮選は粗選系、細粒鉛浮選、粗粒鉛浮選、亜鉛浮選、精鋳・尾鋳濃縮系、鉛・亜鉛精鋳リーチング系、鉛・亜鉛精鋳脱水系、及びペーストプラントからなる。精鋳は187kmをYurbi駅までトラック輸送され鉄道輸送される。

#### Antamina 銅・亜鉛・モリブデン鋳山(ペルー・Ancash 県、標高 4,300m、Lima の北 270km)※前出

### (3) 金・銀

BHPB の金・銀の生産は、銅鋳山あるいは鉛・亜鉛鋳山の副産物として回収されている。

Cannington は鉛・亜鉛に加えて銀も主要鉱産物であり、世界最大級の銀生産量を誇る。2010年度の銀生産量は1,159t(2009年 1,038t)、埋蔵量 27 mt、品位 Ag 283g/t、埋蔵銀量 7,641t である。

表1. 4 BHPB: 埋蔵量 (Proven + Probable : 2010年6月30日付) と2009年度生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位(g/t)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Olympic Dam(Sulfide(硫化鉱)オリムピック・ダム、豪 SA)	100	598	Au 0.71	UG	Au 2.0
			Ag 3.44		Ag 15.6
Antamina(SulfideCu(Cu 硫化鉱)アンタミナ、ペルー Ancash)	33.75	516	Ag 9.5	OP	Ag 434.4 (146.6)
〃 Sulfide Cu-Zn(Cu-Zn 硫化鉱)			Ag 17.5		
Cannington(キャンニントン、豪 QLD)	100	27	Ag 283	UG	Ag 1,159.4

#### (4) ニッケル

コロンビアの Cerro Matoso 鉱山・製錬所でフェロニッケルを生産している。

西豪州 Nickel West 事業所には Leinster、Mt Keith 両鉱山、Kambalda 選鉱場、Kalgoorlie 製錬所(自溶炉、マット生産)、Kwainana 精製所(Sherritt-Gordon アンモニア浸出法、Ni ブリケット・Ni 粉生産)を有する。1kt 程度の少量であるがニッケル精鉱も外販されている。

Nickel West の一連の資産は 2005 年 6 月の WMC Resources の買収により獲得された。

豪州 QLD 州には Yabulu 製錬所において主にラテライト・ニッケル鉱石を処理している。還元炉、アンモニア-炭酸アンモニウム浸出工程、溶媒抽出工程からなる開発技術で特許が取得されている。最終的にニッケルとコバルトの地金が生産されている。原料鉱石は、ニュー・カレドニア、フィリピン、インドネシアから輸入している。

表1. 5 BHPB: 埋蔵量 (Proven + Probable : 2010年6月30日付) と2009年度生産量

オペレーション名	権益 (%)	埋蔵量 (mt)	品位(%)	採掘タイプ	生産量(t) (権益分)
Cerro Matoso(セロ・マトソ: 鉱山・製錬所、コロンビア Coldoba)	99.8	148	1.13	OP	49.7(49.6)
Nickel West(ニッケル・ウエスト: Leinster 及び Mt Keith 鉱山、豪 WA)	100	166.6	0.68	OP/UG	123.8

#### Cerro Matoso(セロ・マトソ)ニッケル鉱山・FeNi 製錬所(コロンビア Cordoba 州)

同国政府、BHP、Hanna Mining により 1980 年鉱山生産開始、1982 年ニッケル生産開始。その後 BHP は権益比率を次第に上げた(1989 年 53%、97 年 99.8%、2007 年 99.94%)。1999 年生産能力が倍増され、2001 年に増産ベースでの生産開始。現在の生産能力(貯鉱処理含む)は 50kt/年であるが、年産量は粗鉱品位に依存している。

#### Nickel West(ニッケル・ウエスト)ニッケル鉱山(豪 WA 州、Kalgoorlie 北 375~460km)

Leinster(OP、UG、Kalgoorlie 北 375km)、Mt.Keith(OP、同 460km)及び Cliffs(UG、同 430km)の 3 鉱山からなる。Leinster は 1967 年生産開始、1988 年に WMC に買収された。Mt.Keith は 1995 年 1 月 WMC により開発・生産された。Leinster、Mt Keith 両鉱山は 2005 年 6 月の WMC 買収により Nickel West として操業管理されることとなった。選鉱能力は Leinster 3mt/年、Mt.Keith 11.5mt/年。

Criffs 鉱山は 2008 年に生産開始されており、鉱石は Leinster 鉱山にトラック輸送(55km)されている。

#### Ravensthorpe(ラベンソープ)ニッケル鉱山(豪 WA 州、Esperance 西 155km)

本鉱床は、Limonite 及び Saprolite で、埋蔵量 238 mt、品位 Ni 0.67%。公式な生産開始は 2008

年5月。2008年11月25日、ニッケル市況低迷に対処し Ravensthorpe ニッケル鉱山と Yabulu 製錬所の減産が発表された。

2009年1月21日、Ravensthorpe ニッケル鉱山の操業無期停止と Yabulu 製錬所での同山産 Ni-Co 混合水酸化物の処理停止、鉱石処理のみとする旨が発表された。

2009年12月9日、BHPB は First Quantum Minerals への売却(340mUS\$)合意を発表。

#### (5) マンガン

BHPB は Anglo American と合弁で Samancor Manganese 社を保有し(BHP 60%: Anglo American 40%)、南アでマンガン鉱を採掘している。世界の高品質マンガン鉱石の80%は南ア Northern Cape 州の Hotazel 近くに埋蔵しているが、同社はここに大部分の権益を保有している。また、2011年7月には豪州北部の GEMCO 事業の第2次事業拡大を決定(BHPB 出資167mUS\$)しており、これにより GEMCO の生産能力を年間4.2mt から年間4.8mt へ増加させる見込みである。

採掘された鉱石の約40%は世界中のフェロアロイ生産業者向けに輸出されているが、残りはグループ内の Meyerton 工場(Transvaal 州)で合金に加工されて中国やロシアなどに輸出されている。2009年度の Samancor Manganese 社のマンガン鉱石生産量は6,124 kt (BHPB 権益分3,674 kt)で世界最大である。

#### (6) 鉄鉱石

鉄鉱石の生産拠点としては豪 WA 州の Yandi 鉱山、Area C 鉱山など Pilbara 鉄鉱石生産システムとブラジル Minas Gerais 州の Samarco 鉱山がある。

・豪州生産拠点：WA 州 Pilbara 地域に7鉱山を擁し鉄鉱石生産システムを形成し、1,000km の鉄道と2つの港湾を保有する。従業員は約8,000名となっている。主要鉱山は以下のとおり。

- Yandi 鉱山 : Mt Newman の北北西約100km に位置し、BHPB は、Mt Newman JV として85%の権益を保有する。資源量は、10.9億 t(Fe 品位57.2%)で、生産能力は42 mt /年以上である。鉱山の操業はコントラクターによって行われているが、鉱石の出荷施設(Hedland 港の Finucane Island 及び Nelson Point)への輸送は、BHPB 運営の鉄道路線で行われている。
- Mt Newman 鉱山 : BHPB は Mt Newman JV の85%権益を保有している(残り権益は、三井物産及び伊藤忠が10%、伊藤忠子会社である IMEA が5%保有)。実際に BHPB 社が操業を行うのは Mt Whaleback 鉱山のみで、近接の衛星鉱山はコントラクターが操業を行っている。Mt Newman の埋蔵量は、周辺鉱体も含め、880mt(Fe 品位62.5%)である。Mt Whaleback 鉱山は、破碎及び積み出し能力が30mt/年で、重液選鉱施設の処理能力は8mt/年である。
- Area C 鉱山 : Mt Newman 北西部120km に位置する。BHP は、Mt Goldsworthy JV として85%の権益を保有する(残りは、三井物産7%、IMEA 8%)。埋蔵量は576mt(Fe 品位61.9%)で、生産能力は42 mt/年である。港湾までの鉄道路線と支線で連携している。
- Samarco 鉱山 : Vale との JV で権益は50%ずつ。年産規模はペレット12mt、精鉱1mt。露天採掘場、選鉱プラント、2か所のペレットプラント、港湾、鉱山とペレットプラントを結ぶ396km の精鉱スラリー輸送パイプラインからなる。

なお、2010年に入ってから豪州での優遇ロイヤルティ撤廃、鉱物資源利用税導入など動きもあり、BHPB はギニア、リベリアでの鉄鉱石開発プロジェクトといった豪州外への投資を加

速させている模様。

## 6) 探鉱活動

BHPB は、世界中 6 か所(Singapore、Perth、Johannesburg、Moscow、Rio de Janeiro、Vancouver) に探鉱事務所を置き拠点としている。

四半期毎に "QUARTERNARY REPORT ON EXPLORATION AND DEVELOPMENT ACTIVITIES" を発行している。これを基に、過去 3 か年の探鉱費実績は、2010/09 年度 516mUS\$、2009/08 年度 695mUS\$、2008/07 年度 547mUS\$ と 2010 年度は対前年で 26% 減となった。

アニュアルレポート 2010/09 によれば、同年度の探鉱費 516mUS\$ の内、グリーン・フィールド(初期段階探鉱)126mUS\$、ブラウン・フィールド(周辺探鉱など) 390mUS\$ であった。Metals Economics Group によれば 2011 年の探鉱予算は 414mUS\$(ダイヤモンド除く)とされている。

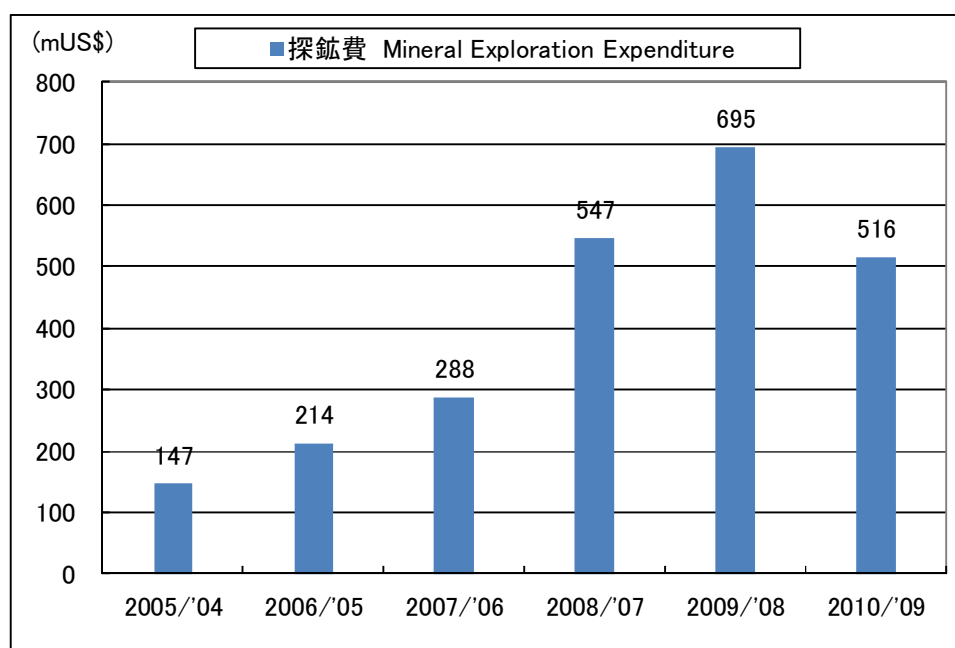


図1. 8 BHPB: 探鉱費 (実績額) の推移

(出典 : Metals Economics Group)

### (1) 対象鉱種

Metals Economics Group によれば、BHPB の 2011 年度の探鉱予算 414.0mUS\$ を探鉱段階別に見ると、Mine Site(鉱山周辺探鉱)193.5mUS\$(46.7%)、Late Stage(後期ステージ探鉱・FS)45.0mUS\$(10.9%)、Grass Roots 探鉱 175.5mUS\$(42.4%)であり、前年度と比較して Grass Roots の比率が上昇した。

鉱種別に見ると、ベースメタル 333mUS\$(80.4%)、その他(鉄鉱石・石炭等)55mUS\$(13.3%)、ウラン 11mUS\$(2.7%)となっており、引き続きベースメタル中心の探鉱投資に注力する様子が伺える。

エリア別では、中南米 193.0mUS\$(46.6%)、加 50.0mUS\$(12.1%)、豪 108.5mUS\$(26.2%)、アフリカ 42.5mUS\$(10.3%)、その他 20.0mUS\$(4.8%)となっており、中南米での探鉱活動に重点を置いていることが伺える。

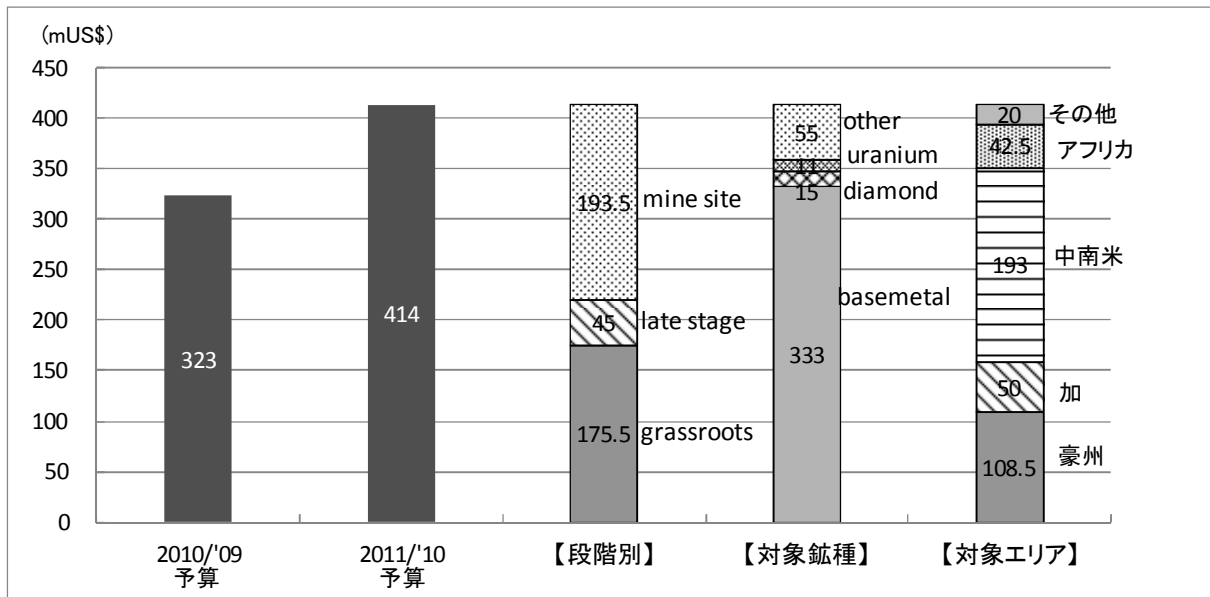


図1.9 BHPB: 探鉱予算の概要

(出典: Metals Economics Group)

## (2) 最近の動向

- ① 豪州 Olympic Dam 事業において、2011年10月に拡張計画にかかる環境影響評価書が正式に承認された。概念設計による最終的な年産能力は銅 750kt、酸化ウラン 19kt、金 800koz(約 24.9t)。
- ② BHPB と Rio Tinto で共同事業の合意(2009年12月)がされていた WA 州 Pilbara 地域における鉄鉱石の生産統合事業は、2010年10月に独連邦反カルテル局による提案禁止通告が通知されたこと等をうけ、同月中に両社の合意を解消することが発表された。
- ③ 2011年3月、WA 州鉄鉱石事業において 6.6bUS\$の追加投資を決定した。同事業は年間 220mt を超える生産能力があり、新しい Jumblebar 鉱山からの初回生産は2014年初期を予定している。
- ④ 2011年3月、豪州 Central Queensland 地区 Bowen 盆地にある3つの主要な原料炭プロジェクトにおいて 2.5bUS\$の追加投資を決定した。年間 4.9mt の鉱山生産能力を追加する。さらに、Hay Point Coal Terminal において年間港湾能力を 11mt に発展させる予定である。